

委員交流研修会

- 本所防災館 (VR 防災体験・防災体験ツアー自助・共助コース)
- 虹の下水道館 (レインボータウン・ガイドツアー)
- 有明水再生センター (見学ツアー)

6月22日(木)

2023年の研修会は本所防災館と水再生センターへ研修に行きました。

本所防災館ではVR(バーチャルリアリティ)防災体験・AEDによる応急手当体験・煙体験・地震体験・消火体験と5つの体験をしました。この5つは災害が起きたら現実的に体験しうるもので家の損壊、火災、意識不明の人の救助などの対応をシュミレーションでき、より自分の事として考える貴重な体験となりました。

午後は虹の下水道館と有明水再生センターへと移動。私達が生活で流している下水・汚水の処理をしている広大な地下水再生施設に見学に行きました。何槽もの沈

殿槽で濾過され、生物分解槽(微生物による分解)で、ほぼ透明な処理水となり海へと流せる事を学びました。

ただ、地震や津波が大都市東京で起こった場合、上下水道は機能しなくなりそうです。普段からの水の備えと非常用トイレを備える、飲む水と排出した汚水を私達が管理しなければならないと痛感した1日でした。(岸)



第五地区 青少対だより

第47号 2024年3月15日発行
青少年対策委員会(青少対)は、地域の青少年の健やかで心豊かな成長のために、様々な事業に取り組んでいます。
発行 三鷹市青少年対策第五地区委員会
発行責任者 岡本 ひろみ

青少対の一年

私たち、第五地区青少対は地域の子どものためにできること、そのために大人も学ぶことを目標に、2023年度は以下のような活動を行いました。

- 5月 総会(5/11)
 - 6月 委員交流研修会(6/22) → P.4
 - 7月 前期地域パトロール(交通対共催)(7/4) → P.3
 - 安全かきこみマップを作成・配付 → P.3
 - 「みんなの約束」リーフレット作成・配付 → P.3
 - 8月 夏休みラジオ体操&通学路ウォーキング(8/22~24) → P.1
 - 10月 地域子ども行事「五小まつり」参加(10/7) → P.2
 - 11月 三鷹市総合防災訓練 参加(11/5) → P.2
 - 12月 後期地域パトロール(12/11) → P.3
 - 1月 「三鷹駅前広場 オープン記念! ふゆまつり」参加(1/13) → P.2
 - 2月 「学習会」(2/13) → P.3
 - 五小卒業を祝う会「五小寄席」(2/26) → P.4
 - 3月 三中卒業を祝う会(高山地区青少対共催)(3/9) → P.4
- 五地区だより発行 会計監査

井の頭住民協議会図書部に委員派遣
委員会5回 役員会5回

夏休みラジオ体操&通学路ウォーキング

8月22日(火)~24日(木) 五小校庭

気温38度を超える猛暑日が続いた中、3日間で延べ489名の児童と保護者が元気に参加してくれました。校長先生をはじめ多くの先生方が子ども達と一緒に体操をし、「明日から二学期だね」「待っているよ」という声かけをしてくださったことで、二学期に向けた気持ちの切り替えができたと思います。

三中ボランティア参加の生徒たちも、より良いオペレーションを自分たちで考えて行動し、大活躍でした。

通学路ウォーキングは交通対、オヤジの会、町会の協力で、通学路の安全を点検しラジオ体操への登下校を見守っていただきました。(内山)



中島校長はホームページの更新頻度の高さも特徴的。ママな情報発信で五小の様子がよくわかります。是非アクセスしてみてください!

中島亮子校長と五小の防災

三鷹の七小で校長を経験し今年度から五小へ。教員時代の専門教科は国語。中野の小学校勤務時に研修で通っていた都庁31階で東日本大震災を経験。副校長として勤務していた練馬の小学校で、学校を基盤に児童、保護者、地域が丸となる防災の取り組みに意義を見出し、校長として勤務した七小で、学校による地域を巻き込んだ防災訓練を実施。五小でも児童の防災訓練と併せて、実際に避難所となる五小と避難する地域住民の備えや予行になる行事を構想。

対談 防災の中島と異名を持つ中島先生と、井の頭が誇る防災オタクで特に被災時のトイレ関係に造詣が深い岡本会長。このお二人に井の頭の防災について対談してほしいと委員からリクエストがあり、今回この場を設けました。

中島: 七小の防災訓練では、低学年は消防署が煙ハウス体験を、中学年は消防団による消火器を使った初期消火訓練、高学年はみたかSCサポートネットがバケツリレーをやってくださいました。防災倉庫見学と体育館で避難所の再現、家庭での備えの展示をコミセンが準備してくれました。

岡本: 開催は平日ですか?

中島: 土曜日です。防災訓練は子供のために行いますが、保護者に見ていただくことも大切と考えました。学校で行うことで、保護者の皆さんにも自分ごととして、自分が避難所運営に関わる立場なのだと考えていただきたいのです。これを五小でやりたいと思っています。

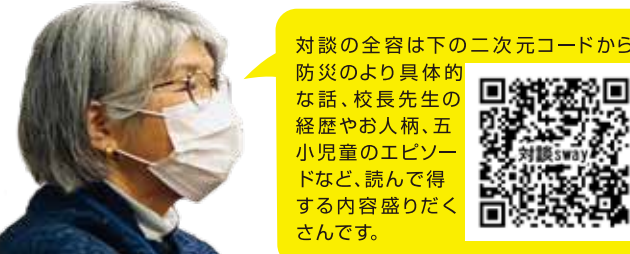
岡本: 大変共感します。子供が公立の小学校に通っているからこそ地域の防災に関わることが出来ますよね。

中島: 例えば青少対、交通対、PTA、オヤジの会、消防団、CS、住協、町会...関わる人がみんな一緒にやることで、横のつながり、いわゆるスクールコミュニティの実現に近づければ!

岡本: 青少対も協力します! 楽しみながら学んで知ることでの先備になるということはすごくいいことです。保護者・地域の協力をいただきながら、みんなでの地震の想定訓練っていうのをやりましょう。

岡本: あと、私が今一番願っているのは、五小プールの横のトイレがマンホールトイレになること。そうしたら校庭に避難して来た人がすぐに使えますよね。

中島: なるほど。今度、市の防災管理課と話してみますね! (対談から一部抜粋)



対談の全容は下の二次元コードから。防災のより具体的な話、校長先生の経歴やお人柄、五小児童のエピソードなど、読んで得る内容盛りだくさんです。



五小卒業を祝う会 2024年2月26日(月) 五小体育館

五小寄席 — 春風亭柳枝さんを招いて

今年も卒業を控えた6年生のために、九代目春風亭柳枝さんが五小寄席に駆けつけてくれました。子どもたちが次々に高座に上がり、箸に見立てた扇子で蕎麦を吸ると会場はどっと沸きました。「牛ほめ」の一席では、柳枝さん演じる与太郎と伯父の滑稽で見事な掛け合いに子どもたちは手をたたいて大爆笑!中学生になると大変なこともあるけれど前を向いて頑張してほしい、と柳枝さんから心温まるエールをいただきました。(馬場)



【三中卒業を祝う会】

〜地域とつながる〜「和太鼓体験」

2024年3月9日(土) 三中体育館

三中3年生の卒業を祝う会を五地区と高山地区の青少対合同で開催しました。三鷹の森学園地域で活動する『井の頭鼓響』にご協力いただき、3年生全員が順に和太鼓演奏を体験。鼓響の方々や生徒たちのセッションや小学生メンバーによる纏や扇の舞など充実した内容となりました。

江戸時代の御狩場太鼓を今に伝える地元の伝統を、華やかさや力強い音とともに心身で吸収してくれたと思います。祝福された記憶を胸に未来に羽ばたいてほしいと願っています。(大島)



2023年度五地区青少対メンバー

- 会長: 岡本 ひろみ
副会長: 山田 優子
高谷 美保 (会計兼任)
会計: 村井 訓子
庶務: 大島 果苗
東 朋子
会計監査: 内山 みのり
福地 信子
五小: 中島 亮子 校長(相談役)
池田 勝貴 副校長
柳田 浩良 先生
三中: 並木 茂男 校長(相談役)
清水 裕裕 副校長
柳内 嘉 先生



- 明星学園小学校: 照井 伸也 校長(相談役)
伊野 文子 副校長
明星学園中学校: 石井 三絵 副校長
渡辺 恵子 村田 恵子
田中 順子 鈴木 照美
岸 優子 大木 杏奈
川部 理恵 佐藤 ひろみ(井の頭一丁目町会)
馬場 みどり 岩野 晶絵
前澤 宏子 浦上 宰理
石井 順子(井の頭五川町会) 服部 亜麗沙
馬部 久美子 成澤 真恵
嶋田 しげり 加藤 敦子
立川 亮子 徳田 牧子
石井 京子 佐々木 珠穂 (順不同・敬称略)

五地区青少対 委員&サポーター募集!

五地区青少対は五小地区の子供達が安心して安全に楽しく過ごせるよう、この紙面のような活動をしています。是非一緒に活動してみませんか。入会のご希望を随時受け付けております。ご連絡は青少対Gメールか、入会フォームからどうぞ。紙面のご感想も是非お寄せください。

Gmail: mitaka5seichoutai@gmail.com

入会フォーム

五地区青少対のすべてがわかるウェブ記事



地域子ども行事

「五小まつり」参加

10月7日(土)五小校庭

4年ぶりに開催された五小まつりにて「みんなの約束クイズ」のブースを出しました。

青少対が夏休み前に配布したリーフレット「みんなの約束」の中から、防犯・防災に関する問題を出題し、回答すると景品をゲット!

小学生はもちろん、未就学児にもわかりやすいように工夫したので、親子でクイズに挑戦する姿も多く見られました。

クイズを通して、防犯・防災について親子や友達同士で会話し考えたり、忘れていた事を再認識したりと、とても良い機会となったのではないのでしょうか。(大島)



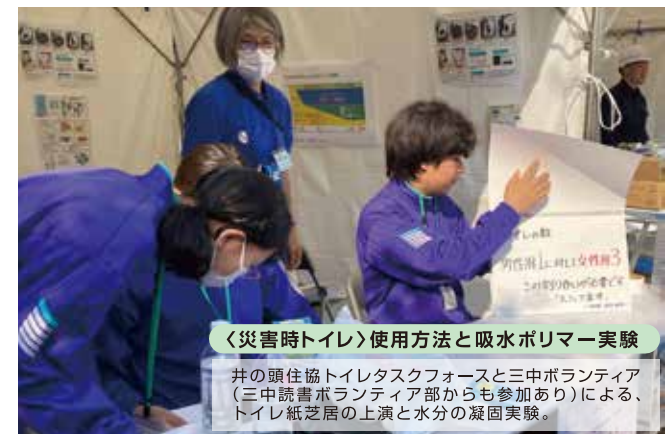
青少対の防災 地域活動報告

三鷹市総合防災訓練に参加

11月5日(日)五小会場

今年市内持ち回りで開催される市の規模の大きな防災訓練が、五小で開催されました。

五地区青少対は三中生のボランティア募集を担当。当日は三中生ボランティアと一緒に「災害時トイレ」使用方法と吸水ポリマー実験、〈防災食〉缶詰・乾物で栄養食づくり、〈応急救護〉けがの手当等のコーナーを手伝いました。「多くの人に知ってもらいたい」と、来場者や友達に熱心に説明する三中生の姿がとても頼もしかったです。(山田)



〈災害時トイレ〉使用方法と吸水ポリマー実験

井の頭住協トイレタスクフォースと三中生ボランティア(三中読書ボランティア部からも参加あり)による、トイレ紙芝居の上演と水分の凝固実験。



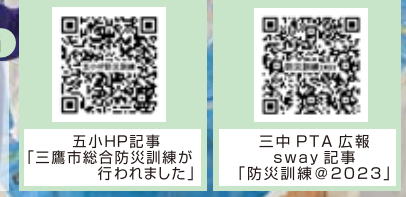
〈防災食〉缶詰・乾物で栄養食作り

Mitakaみんなの防災による、家にある保存食でおいしくて簡単に栄養が摂れるメニューの提案。三中ボランティアが試食作りで活躍。



〈応急救護〉けがの手当

赤十字奉仕団による三角巾包帯コーナー。三中生も三角巾一枚でできる止血や骨折固定など、様々な応急救護法を学び、来場者へレクチャー。



「三鷹台駅前広場オープン記念!ふゆまつり」参加

2024年1月13日(土)

まちづくりブースの防災コーナーを担当しました。井の頭は道が狭く救助車の進入が困難な地域であること、初期消火の大切さを伝えました。(山田)



五小HP内「ふゆまつり〜三鷹台駅前広場オープン」

五小学区の白地図を配付 2023年度版発行

青少対 安全かきこみマップ

災害時や事件事故を知った時、普段子どもはどこを歩いているのか?友達の家はどこか?知っておくと安心です。親子一緒に歩き、危険な場所も書き込み、自分だけの地図を作成して欲しいです。AEDのある場所も掲載しました。(岡本)



地域パトロール

知って守ろう子供の安全



前期 7月4日(火) 五小学区
後期 12月11日(月) 玉川上水沿い

7月は交通対と合同で、「五小地区安全確認と防災の話〜おまわりさんと地域の危険な場所を確認しよう〜」と題し、五小学区内の危険箇所を警察官同行で見回りました。パトロール後はコミセン和室にて、ふれあいポリス神津さんから防犯、交通対会長の篠原さんから防災に関する講話を頂き、安全安心への意識を高め、知識を共有しました。

12月は「〜ふれあいポリスと歩く〜真っ暗な5時の道」と題し、警察署・市役所・学童のご協力のもと、街灯の無い場所で暗闇体験をしながら、親子で玉川上水を歩きました。今回は五小の中島校長先生もご参加に。子供が夜道を歩く時、災害時の停電によるブラックアウト、暗闇を体験することで注意点や必要なものが実感できました。(高谷)



安全・安心情報 2023年度版発行

みんなの約束リーフレット作成・配付

防災、防犯、心の安全の大切さを考える冊子です。“子どもがひとりである時に大地震、どうする?”と家族みんなで話をしてください。災害時に子どもの見守りの目となるのが、近所や地域との日頃の繋がりで。地域のイベントやお祭りに参加してみましょう。

「こんにちは」の関係がそのまま「防災」となり、「防犯」となります。(山田)



学習会

和紙研究家 デンホード・ポールさんから和紙の魅力をお聞きしました

カナダ出身、井の頭在住で五小保護者でもある和紙研究家、デンホード・ポールさんを講師に迎えお話を伺いました。大学で美術を学んでいる中で、使っている紙自体に興味を持ち、和紙に魅了されたとのこと。原料となる楮の栽培から製造工程を写真と共に詳しく説明していただきました。「和紙は千年」「洋紙は百年」と言われるほど丈夫な和紙は樹皮を使うため、木を伐採しなくていいのです。ポールさんは楮を苗から育ててもらい、和紙を身近に感じてもらう取り組みもされています。いつか五小の子供たちが自分で作った卒業証書を手にする日がきたら素敵だろうな、と想像が膨らんだ一日でした。(成澤)

2月13日(火)
井の頭コミュニティ・センター新館 視聴覚室
講師:和紙研究家 デンホード・ポールさん
会場参加者:20名
zoom参加者:11名

